

徳島県立文学書道館 書道特別展

新収蔵 小坂奇石展

2016年 6月25日(土) ~ 8月7日(日)



小坂奇石書「博達」

○ 座談会・作品解説

日時：7月24日(日) 13:00 ~ 15:00

講師：江口大象(璞社会長)
東南光(璞社参事)
木本南邨(璞社参事)

※ 座談会・作品解説の申し込み方法
往復ハガキに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、「小坂奇石展座談会・作品解説」希望と明記の上、当館「小坂奇石展」係まで郵送してください。
当館1階受付でも申し込めます。

○ 開館時間

9:30 ~ 17:00

○ 休館日

月曜日(ただし7月18日(海の日)は開館し翌19日に休館します)

○ 観覧料 常設展もご覧いただけます

一般510円(400円) 高校・大学生350円(280円)

小・中学生250円(200円) ()内は20名以上の団体料金。

小・中・高校生は土・日・祝日・夏休み期間中は無料です。

高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額です。

○ 主催

徳島県立文学書道館

○ 後援

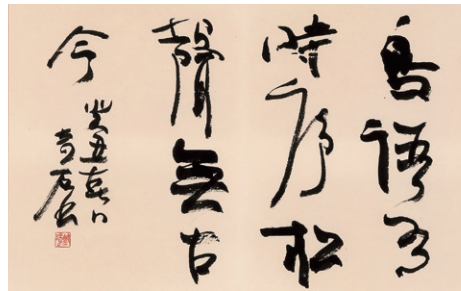
徳島県教育委員会・徳島新聞社・四国放送

徳島県立文学書道館

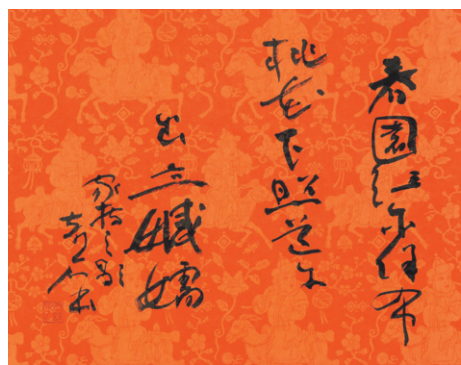
〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1
TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540
URL <http://www.bungakushodo.jp>

小坂奇石(1901~91)は、書における造形や技巧を肯定しつつも、書の本質は線にあるとしました。そこに潜む気の大切さを説き、線に宿る作者の内面に書のありようを考えたのでした。奇石の書が、今なお見る者を魅了し、心を大きく揺さぶるのは、その筆線に奇石の心—信念が宿っているからでしょう。

このたびは、長女小坂淳子氏より新たに寄贈された奇石の書、50歳代から88歳までの約40点を展示します。奇石の筆線にふれていただければ幸いです。



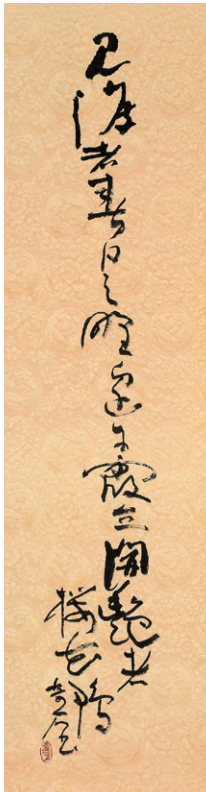
「寒山詩句」 42.6×65.7cm
1973年 72歳 璞社展(控)



「家持の歌」 33.5×42.3cm
1981年 80歳 現代書道二十人展(控)



「楽無窮」 116・5×35・0cm
1983年頃 82歳頃



「万葉歌」 127・5×34・5cm
1983年 82歳 現代書道二十人展(控)



「簗松抱雪」 121・2×34・2cm
1987年 86歳 関西の書家一〇〇人展(控)

小坂奇石のことは

われわれ書を芸術する者にとつて「線の行者」としての苦行を怠つてはならない。書かれた線には筆者の良さと悪さも含めて全てがさらけ出される。腹の底からゆさぶられるような感動、その根源は畢竟「線」にある。書をやってる者はつねに無意識のうちにさえ、線の中にあるさまざまな見えぬものをまさぐるうとしている。精神、気格、強さ、人間性等々。

小坂奇石略年譜

1901 (明治34年)	0歳	1月13日、徳島県海部郡二岐田町現在の美波町に生まれる 名は光太郎(みつたろう)
1917 (大正6年)	16歳	黒木栞石に師事
1935 (昭和10年)	34歳	東方書道会展において5年連続特選
1946 (21年)	45歳	日本書道院(日本書芸院)設立に参画
1948 (23年)	47歳	新設の日展第5科(書)に第3席で入選
1950 (25年)	49歳	日展特選
1952 (27年)	51歳	日展委嘱
1955 (30年)	54歳	璞社を創設
1956 (31年)	55歳	日展審査員(以後5回)
1957 (32年)	56歳	現代書道二十人展に第一回より連続出品
1960 (35年)	59歳	奈良学芸大学(奈良教育大学)助教授
1962 (37年)	61歳	日展評議員、第一回璞社展開催
1966 (41年)	65歳	書道誌「書源」創刊、大阪芸術賞受賞
1967 (42年)	66歳	日展文部大臣賞受賞
1970 (45年)	69歳	日展文部大臣賞受賞
1976 (51年)	75歳	日展参予、由岐町名誉町民となる
1978 (53年)	77歳	喜寿記念個展、徳島県文化賞受賞
1980 (55年)	79歳	八十歳記念個展、徳島県文化賞受賞
1981 (56年)	80歳	日本芸術院恩賜賞・芸術院賞受賞
1982 (57年)	81歳	紺綬褒章受章、日展参事
1989 (平成元年)	88歳	勲三等瑞宝章受章
1991 (3年)	90歳	米寿記念個展「黙語堂雜記」出版 10月6日逝去、従五位を追賜される

●展示のお知らせ

◇書道企画展

「夏の書道収蔵品展 中林梧竹の楷書」
会期：6月21日(火)～9月28日(水)

◇書道特別展

「書家・教育者・研究者 田中双鶴の書業」
会期：10月1日(土)～11月13日(日)

座談会・作品解説：

10月9日(日) 14:00～15:30

●交通アクセス(JR徳島駅から)

徒歩 約15分
JR徳島駅西側のポッポ街を抜け右折します。踏切と助任川を渡り、3つ目の信号交差点を右折し約300m。徳島中学校東隣。

バス

(徳島市営バス)7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗り、「吉野本町2丁目」で下車、徒歩約5分。
(徳島バス)2番乗り場「前川経由」に乗り、「吉野本町2丁目」で下車、徒歩約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進、助任川を渡り4つ目の信号を右折し約300m。
当館北側に駐車場があります(43台・大型バス2台)。

